

二酸化炭素排出量の排出区分（部門）の内訳

平成20年4月

<エネルギー起源の二酸化炭素>

エネルギー起源二酸化炭素の部門については、「総合エネルギー統計」（資源エネルギー庁長官官房総合政策課編）の区分に準拠しています。

<http://www.enecho.meti.go.jp/info/statistics/jukyu/index.htm>

○ 産業部門

製造業（工場）、農林水産業、鉱業、建設業における燃料・電力の使用に伴う排出。

第3次産業は含まれない。また、製造業の企業であっても、本社ビル等の部分は含まれない（→業務その他に計上）。

統計の制約上、中小製造業（工場）の一部は含まれない（→業務その他に計上）。

○ 運輸部門

自動車、船舶、航空機、鉄道における燃料・電力の使用に伴う排出。

自動車は、自家用のものも全て含む。

○ 家庭部門

家庭における燃料・電力の使用に伴う排出。

自家用自動車からの排出は、運輸部門で計上。

○ 業務その他部門

事務所・ビル、商業・サービス業施設に加え、中小製造業（工場）の一部における燃料・電力の使用等に伴う排出（他のいずれの最終エネルギー消費部門にも帰属しないエネルギー消費）。

○ エネルギー転換部門

発電所等におけるエネルギー転換のための燃料使用に伴う排出。自家用発電や産業用蒸気は含まない。（それぞれの部門で計上。）

電力及び熱の消費分を各部門に割り振った場合は、本部門は発電所等内の自家消費分及び送配電ロスに伴う排出が含まれる。

<エネルギー起源以外の二酸化炭素>

○ 工業プロセス部門

セメント製造工程における石灰石からの排出など、工業材料の化学変化に伴う排出。

○ 廃棄物部門

廃棄物焼却場におけるプラスチック、廃油等の焼却に伴う排出。